

平成30年第23週 県中保健福祉事務所感染症レター

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第23週	第22週	第23週		第22週		第23週		第22週		第23週		第22週		第23週		第22週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	15	30	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
咽頭結膜熱	69	41	4	0	2	2	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	129	136	8	0	11	0	3	0	7	0	0	0	0	0	5	0	4	0
感染性胃腸炎	322	300	98	27	89	20	77	10	77	10	0	4	0	8	21	13	12	2
水痘	18	19	5	2	4	5	5	2	4	4	0	0	0	1	0	0	0	0
手足口病	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	44	28	7	0	3	1	5	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0
ヘルパンギーナ	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	19	14	4	6	2	3	1	1	0	0	1	4	2	3	2	1	0	0
RSウイルス感染症	30	36	2	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1		0		0		0		0
流行性角結膜炎	31	29	0	1	0	6	0	0	0	6		1		0		0		0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。  
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈咽結結膜炎の小流行が続いています〉

アデノウイルスの感染により、38～39度台の発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を引き起こす、小児に多い病気です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので「プール熱」と呼ばれることもあります。プールから上がったときは、シャワーを浴び、うがいし衛生を保つようにしましょう。感染者とのタオルの共用など綿密な接触は避けましょう。

〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています〉

A群レンサ球菌による上気道の感染症です。菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こします。感染経路は飛沫感染、接触感染です。

〈感染性胃腸炎が流行しています〉

食品や飲料水をとおり経口的に細菌、ウイルスなどの病原体が腸に感染してさまざまな消化器症状を引き起こす病気です。

※飛沫感染：患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。

※接触感染：細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻繁に人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。



蚊媒介感染症を予防しよう

蚊媒介感染症とは、感染蚊に刺されることにより感染する感染症の総称です。平成26年に日本でも関東を中心にデング熱の国内感染事例も発生しています。疾患によっては予防接種や予防内服が有効なものもありますが、最も重要なことは蚊を発生させない、蚊に刺されないことです。日本のほとんどの地域に分布しているヒトスジシマカは5月中旬～10月下旬が活動時期になり注意が必要です。

○蚊を発生させない

- ・野外に放置されたバケツ、タイヤ、ブルーシートなど水が溜まり蚊の幼虫(ボウフラ)が発生しやすい場所をなくしましょう。
- ・水をためて置く場所は蓋をしめたり、天敵(メダカ等)を入れて蚊の幼虫(ボウフラ)の発生をなくしましょう。



蚊は飛び回るため、駆除が難しくなります。幼虫(ボウフラ)のうちに駆除し、蚊の発生を抑制しましょう。

○蚊に刺されない

- 屋外
- ・蚊の潜伏場所になる藪を剪定、草刈で通気性をよくしましょう。
  - ・長袖、長ズボンを着用しましょう。
  - ・虫除けスプレーを使用しましょう。(首筋、耳、顔には一度手にとって塗る)
  - ・蚊取線香やファン式蚊取も有効です。



- 屋内
- ・適切に網戸を閉めましょう。窓を中途半端に開けると、網戸と窓の隙間から蚊が侵入します。
  - ・蚊取マット、ワンプッシュ式蚊取も有効です。

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL：0248-75-7818 E-mail：kenchu\_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp